

ふれあい補聴器 柳川店 (柳川市)

技能者による丁寧な調整

イチオシ

「ふれあい補聴器 柳川店」

オープンした。

(柳川市京町)は筑後地区で数少ない認定補聴器専門店だ。19年の補聴器メーカー勤務歴がある牛島忍代表(44)が2015年に旧店舗の権利を買い取り、店名を変えずに才

「補聴器は買ってすぐに十分な聞こえが得られるわけはありません。その人に合わせるため、しっかりとした調整が必要です」
牛島代表は公益財団法人

が認定する技能者。聴力や語音弁別(言葉の聞き取り)を測定し、微調整を繰り返して満足度を高めていく。無料の出張メンテナンスなどアフターサービスも充実している。

国が2015年に策定した認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)では、難聴を認知症発症の危険因子の一つに挙げる。牛島代表によると、耳が聞こえにくくなると周囲との関わりを避け

るようになり、認知機能低下につながる恐れがあるという。「加齢による難聴は徐々に進行し、本人が気付かないケースもある。家族のアドバースも含め早めの対策が重要です」

取り扱いは国内外の10メーカー。価格は片耳当たり5万〜50万円と幅広い。補聴器は特に欧米メーカーの性能が優れており、価格差は主に雑音の制御能力。高価格帯の製品ほど、冷蔵庫の音や蛍光灯の音、大きな音など、より多くの「聞きたくない音」を判別し、増幅しないという。

牛島代表は「補聴器はより小さく、高性能になっていきます。気軽に試してみてください」と話している。

「ふれあい補聴器 柳川店」
0944(85)1700。
(森竜太郎)



さまざまな補聴器を紹介する牛島忍代表



柳川商店街に構える「ふれあい補聴器 柳川店」